

後援会だより きりゅう

# 櫻 隆

平成30年3月7日  
 発行 福島県農業総合センター  
 農業短期大学校後援会  
 発行責任者 会長 高橋 純一  
 西白河郡矢吹町一本木446-1



## 卒業によせて



福島県知事  
 内堀 雅雄

卒業生の皆さん、御卒業おめでとうございます。

皆さんは、本校において同じ目標を持った仲間と切磋琢磨し、実践的な農業の技術力や経営力に加え、幅広い知識や創造性を身に付けられたところであり、本日、晴れて卒業の日を迎えられたことを大変嬉しく思うとともに、皆さんが柔軟な発想や行動力、そして何よりも熱い情熱を持ったたくましい青年となられ、巣立っていかれることを大変心強く感じています。

また、これまで皆さんの成長を温かく見守り、支えてこられました御家族の皆様のお慶びはひとしおのことと拝察し、心からお祝いを申し上げます。

さて、東日本大震災から七年が経過しようとしております。原子力災害による風評が、今なお根強く残る一方、避難指示が解除された区域において農業法人など地域の新たな担い手による大規模な水稲栽培や施設園芸が展開されるとともに、モモや

ナシなどの輸出が震災前を上回る過去最高の実績となるなど、本県農業の未来を照らす光が強さを増しております。

また、皆さんが学んだ農業は、県民の生命を支える食料の生産や自然環境の保全など、豊かな国民生活に不可欠な役割を担っておりますが、将来の中核的な担い手として期待される新規就農者数が平成二十七年以降、三年続けて二百人を超えており、県内各地で活躍される皆さんの先輩方への姿は、復興・創生を進める本県にとりて大きな希望となっております。

県といたしましては、農業の体質強化と成長産業化に向けた取組を一層進めるとともに、こうした農業の重要性や魅力を多くの方々発信し、農業を職業として選択する若者が更に増えるよう取り組んでまいります。

これから社会人としての第一歩を踏み出す皆さんにおかれましては、失敗を恐れることなく、何事にも果敢にチャレンジされ、夢や希望を持ってそれぞれの未来を創り上げ、御活躍されることを大いに期待しております。

結びに、卒業生の皆さんの輝かしい前途を心から祝福いたしますとともに、関係の皆様のお健勝と御多幸をお祈り申し上げ、贈る言葉といたしません。



## 卒業を迎えて



後援会長  
高橋 純一

卒業を迎えられた皆さん、御卒業おめでとうございます。

夢と希望を持ち入学し学んだ二年間、様々な経験と、知識を習得し実践力を身に付けてきた事でしょう。

皆さんはこれから、就農・就職・進学と様々な道に進もうとしていますが、福島県は震災、原発事故から七年目を迎え、まだまだ復興の途中であり、根強い風評被害が続いております。また、世界情勢を見ても日本の農業情勢は厳しいものがあります。しかし、二年間ここで養った経験、共同生活で学んだ共同の力をいかに、これからの社会生活に生かして欲しいと思います。これからの福島県の復興、日本の復興には皆さんの力が必要となります。新しい生活では様々な困難が立ちはだかると思いますが、これからの「大きな夢」を持ち続け、「やる気」を持ち、「根気」強く続ける、更に一歩踏み出す



「勇気」を持つて欲しいと思います。そして、一人一人が地域にとけこみ、先輩達の話に耳を傾け、多くの知識を吸収し、地域農業を担うリーダーとして活躍することに期待したいと思います。

結びに、子供の成長とともに見守り続けた保護者の皆様、教職員の皆様、後援会活動においての御指導、御協力、誠に有難うございました。心より感謝申し上げます。



## はなむけの言葉



校長  
飯田 純也

卒業生の皆さん、御卒業おめでとうございます。

また、御家族の皆様には、これまで本校の運営に御理解と御協力をいただき、心より感謝を申し上げます。

皆さんは、それぞれ農業への思いを胸に入校し、専門的な知識と実践力を身に付けました。

さらに日々の学習や寮生活を通じて多くの人と交流しながら成長し、いよいよ社会人として歩み始めます。入校当時は、就農に向けて実力をつけようとしていた人、自分の進路を模索していた人、より深く農業を学ぼうとしていた人など、その意気込みや思いは様々でしたが、この二年間でさらに自分の将来を見据えて活動してきたことは、大きな財産としてこれからの皆さんを支えてくれると信じます。

この大学校で培ったもの、まさに櫛隆祭のメッセージに込めた「農力」

と「百笑魂」をバネに、それぞれの道で大いに飛躍されることを期待します。

皆さんには個性があり能力があります。限らない可能性があります。可能性を信じてあきらめない、そして努力することが大切です。

また、物事を成し遂げるには心身ともに健康であることが欠かせませんが、ここでの仲間との絆は、これからも元氣や勇気を与えてくれるに違いありません。

東日本大震災と原発事故によって厳しい状況となっている本県の農業に関わっていききたいという皆さんは、実に頼もしい。

本県農業の復興そして発展への挑戦は続きます。

これからは、自分の仕事に力を尽くすことが本県農業の振興につながるという思いを持ち続けてください。本校で過ごした二年間が、かけがえのない時としていつまでも皆さんの心に残り、輝かしい未来へのエネルギーとなることを願って、卒業に当たってはなむけの言葉とします。







## 「夢の実現を！」

副校長(兼)  
農業経営部長 大友 勇雄

私も皆さんと一緒に二年前に農短大での勤務が始まりました。入校式、球技大会、樺隆祭、収穫祭、授業(農業情勢)、意見・卒論発表会、そして卒業式。皆さんの笑顔、元気な声、緊張した面持ち、ねほけ眼(笑)。たくさんの思い出、ありがとう。

長い人生の中で二年間はほんの短い時間ですが、ここで得た友情、知識と経験は、これからの大きな支えとなるでしょう。夢の実現を期待しています。卒業おめでとう。乾杯！

## 「恐れず前へ！」

水田経営学科長 寺崎 弘之

(3) ！！。一人ひとりに様々な思いがある  
ご卒業おめでとうございます。農短大での二年間は短かった！長かった！やり残した！いや、やり切った

ことと思います。

これからは社会人として、恐れず前を向いて突き進んでください。困難に出合い、立ち止まらざるを得ないときには、農短大での経験や知識、また、学生生活を共にした友人を思い出してください。再び歩みだす力となるかもしれません。皆さんの今後の活躍を祈っています。

## 「社会人となる皆さんへ」

野菜経営学科長 高倉 慎

卒業おめでとう！

これから皆さんは、今まで生きてきた倍以上の時間を、社会人として過ごすこととなります。今まで保護者や大人達が決めてきた様々なことを、今後は自らが選び決定し、そして実行しなくてはなりません。

「学校の勉強は実生活では役に立たない」とはよく言われることです。それは勉強が全く無駄だと言うことではありません。実生活に直接役立つものは少ないかもしれませんが、勉強で得た知識や経験、考え方が、皆さんが今後することになる選択や決定で大いに参考となるはずですよ。また、そうしなければ、よりよい未来を得ることは出来ません。

長い人生、笑って過ごせる明るい未来を、ぜひ勝ち取って下さい。心より祈っております。

## 「祝卒業」

果樹経営学科長 半谷 広

ご卒業おめでとうございます。晴れて短大を卒業できた裏には、ご家族の深い愛情があったことを忘れずに、新たな一步を踏み出してください。

また、これからは失敗を恐れず、積極果敢に様々なことにチャレンジしてみましよう。そこには、これまでにない新しい自分が存在しているはずですよ。これまで培ってきた知力と体力で、新しい未来を切り開いてください。

卒業生の輝かしい門出を心より祝福するとともに、更なる発展を願っています。

## 「人を大切に！」

花き経営学科長 大河内 栄

ご卒業おめでとうございます。農短大の濃密な二年間のなかで皆さんは多くの「友」に出会えたことと思います。

そして、社会に出るとこれまで以上に、色々な人々と出会うことでしょう。

どんな出会いも一つ一つ意味があります。「人」を大切に出来る人間になって下さい。

これから新しい生活が待っています。あなたらしい自分の花を咲かせてください。

## 「未来へ」

畜産経営学科長 佐藤 由美

ご卒業おめでとうございます。

長いようで短かった2年間が終わり、4月からはいよいよ社会人ですね。

人生で大きな山にぶつかったとき、いつべんに超えることは難しいですが、少しずつでも進んでいけばいつかは超えられると思います。

「努力は人を裏切らない」といいます。小さな努力を積み重ね、大きな未来を創っていきましょう。がんばれ！短大生！





# 感謝のことは



学生自治会長  
**佐々木 誠**

卒業生の皆さん御卒業おめでとうございます。先輩方には学校生活・寮生活で大変お世話になりました。また、校内球技大会や樺隆祭などの学校行事では先輩方が率いる学生自治会、寮自治会が中心となって学校行事をより良い物にしてくださいました。その為私達も各行事に楽しく自然にとけ込むことができました。本当にありがとうございます。初めて寮生活をする学生が多くな不安が多い中での人校となりました。そんな中、先輩方は、私たちに声をかけてくださり寮生活のルールや季節ごとの行事について教えてくださいました。私達が楽しく有意義な学校生活を送れたのは先輩方が優しく、時には厳しく指導してくださいったお陰だと思えます。

学校外行事では、東日本農業大学校球技大会が山形県で行われ、女子は5位・男子は3位という結果を残

しました。三十年度は福島県で開催されるので、運営、準備により一層力を入れていきたいと思えます。

これまで先輩方率いる学生自治会・寮自治会が中心となり私達を導いてくださいました。これからは、私達新自治会・新寮自治会を中心に新入生を引っ張っていき、さらに充実した学校生活を送れるように役員一同精一杯力を尽くしていきます。

先輩方はそれぞれの道に進み、多くの困難に直面することもあると思います。そんな時は、この学校で学んだことや、楽しかった学校生活の日々を思い出してください。

最後になりますが、卒業生の皆さん本当にありがとうございます。新天地での更なる御活躍をお祈り申し上げます。



# 卒業に 想う

## 水田 経営学科

**荒木 隆太郎**

短大生活は笑って、ふざけての二年間でした。とても濃い内容で一生忘れないでしょう。畑作専攻、南二階楽しかった！ありがとうございます。

**五十嵐 健人**

二年間が私はとても短く感じました。多くの仲間に関まれ、幸せな時間を送りました。たくさん迷惑をかけたけど、いつか恩返しをします。

**遠藤 亜美**

学科で女の子一人だったけど仲良くしてくれて嬉しかったです。大切なさといずが居たから毎日が楽しい二年間でした。この学校に来て良かったです。大好きな家族に感謝。

**荻野 広太**

二年間があつという間に過ぎていきま

したが、実習、寮生活全部楽しかったです。これからは、社会人としてここで学んだことを活かしていこうと思えます。

**小山田 拓矢**

農短での二年間はあつという間でし。実習や授業を通して学んだことは一生の宝物となります。

**佐々木 映太**

二年間という短い間でしたが、いろいろな経験、思い出を残すことができました。この二年間で得たものは大きく今後の農業経営がんばっていこうと思います。二年間ありがとうございます！

**宍戸 太郎**

ここで過ごした日々、二年間一緒に学んできた友人達との出会いは忘れられない大切なモノです。これからも出会いを大事にし、社会人生活を歩んでいきたいです。

**鈴木 優希**

農業初心者の私が二年間やってこれたのも、ご指導して下さった先生方や、一緒に実習した友人達のお陰です。さらば、みんなありがとう。

**丹治 正樹**

二年間、あつという間でしたがとて



## 野菜経営学科

も沢山の思い出ができました。皆と過ごした日々は一生ものです。またどこかで会ったら笑って話し合いましょう。

半澤 孝典

こんにちは皆さん。私が今こうしてられるのも皆さんのお陰だと思う。だからみんなに感謝しています。まじでみんな大好き。

福島 翔太

私は、あまり話すのが得意でなかったため、寮や学校になじめるか心配でしたが、友達に恵まれて楽しい生活を送ることができました。これからも頑張ります。

(5)



畠田 侑平

二年間、とても楽しく過ごせました。寮生活はいい思い出になりました。なんだかんだで野菜専攻楽しかったです。

阿部 龍也

皆さんお疲れ様でした。長いようで短い二年間でした。かなり問題がある寮でしたが住めば都だったように思います。この農短の学生で良かったです。

今泉 尊裕

二年間あつという間でした。とても楽しかったです。とても面白い仲間達にも出会うことができて、この学校に来て良かったと思います。それでは皆様またどこかで。

金丸 紋子

二年間お世話になりました。とても楽しく学校生活を送ることができました。春から社会人として頑張りたいと思います。

菊池 顕斗

長いと思っていた二年間は、あつという間でした。実習や寮生活を通して

得たものは、かけがえのないものでした。この二年間は忘れません。

佐藤 哲平

二年間お世話になりました。マタドコカデアイマシヨウ

佐藤 夏美

寮で二年間生活したお陰でさこちなかつた会話が今では家族のよう。最高すぎる仲間に会えて良かった。学生生活を支えてくれた家族に感謝。ありがとう。

佐藤 南海

二年間マジ短すぎた。皆とバイバイするのがさみしいよって！色々な事が思い出です。おふたりさん大好きって、しーちゃん大スキって、また会う日までバイちゃん

佐藤 愛美

この二年間、本当に大事なことを学んできました。仲間との大切な思い出、実習でやったこと、寮生活の楽しいこと大変なこと。全てがかけがえのないものです!!

鈴木 希望

長いようで、短い二年間があつという間に過ぎてしまいました。辛いこと

もあつたけど楽しいこともいっぱいありました。ありがとうございました!

馬場 大河

農短にいたこの二年間では良い事も悪い事も全部学ぶことができました。ここで学んだ事は社会に出た時に生かしていきたいです。みんなありがとう!

穂積 知秀

みんな楽しい思い出をありがとう。本当にありがとう。次会うときは、またみんなで笑って会いたいですね。今後会う日を楽しみにして、精一杯頑張りたいと思います。





## 果樹経営学科

小林 雅人

二年間という短い間でしたがありがたいございました。寮生活や実習、各行事とても楽しかったです。

佐々木 駿弥

二年間、たくさんの人に支えてもらい、助力をいただきました。初挑戦の事が多かった二年間でした。寮生活もとても楽しかったです。今後ともよろしく願います。



先崎 晴菜

二年間はとてもあつという間だったけど、今までの学生生活の中で一番濃い二年間でした。普通の生活では学べないことも沢山身につけることができました。楽しかったです。

高橋 華菜恵

二年間長いようで短かったのかなと思います。実習や学生生活を通していろいろなことを学べ、楽しく過ごせました。ありがとうございました。

高橋 卓也

あいまいな思いで入学を決めた時から二年が経ち卒業が訪れました。寮での日々はかなり楽しく大切な時間になりました。あきる事が無い二年間でした。

豊永 瑞樹

この二年間は早く、あつという間でした。いろいろなことをし、色々やらされた日々でした。辛い時もありましたが楽しい二年間をありがとうございました。

邊見 美咲

二年間という長くも短くも感じる期間でしたが、文化祭などの楽しい思

い出が沢山できました。とても充実した学生生活を送れました。ありがとうございました。

松浦 晃洋

みんなと過ごした二年間はあつという間でした。良いことも悪いこともたくさん学びました。農短に来て本当に良かった。またどこかで会いましょう。

三浦 貴徳

あの日から二年という時が過ぎ去り、実習や寮生活、放課後に大切な仲間達と一緒に過ごすことができ、とても楽しい思い出になりました。

村上 彰

二年間という短い間でしたが、自分にとっては初めての農業だったので周りの人についていけるように頑張りました。おかげで農業の他にあらゆる資格も取れました。

## 花き経営学科

遠藤 延義

二年間は意外と長いと思いましたが短かったと思います。そして、二年間



で作れた友達は大切にしていきたいと思えます。

近内 貴明

二年間というとても短く、またとても内容の濃い時間を過ごす事ができました。仲間達、先生方、そして両親に感謝！感謝！感謝！みんなありがとう！！

斎藤 大地

二年間という短い期間ではありましたが、自分がやりたいことはできたの



で満足しています。

**坂井 洸太**

二年間という短い間でしたが、農短で学んできたことや、知り合った友人のことは忘れません。これからは社会人として頑張っていきたいと思います。

**鈴木 達也**

二年間だけでしたが、実習や座学などと思ったこの思いは、一生忘れませんが、今では美しい思い出です。

**仙波 大夢**

二年間は意外と短く感じました。実習や座学などで学んだことを活かしたいと思っています。

**本間 靖一郎**

どうもホンマです。これまで活動してきたなかで農家留学研修や企画研修など様々ありましたが、その中で最も苦労したのが卒論です。定植から収穫までの手間がね。

**柳沼 弘道**

(7) 時の流れは速く、もう別れの日が訪れました。とても悲しいことだけではそれは大好きだったということです。

ここでの思い出を胸に新たな出会いを求め前進します。

**吉田 優太**

二年間はとても短かったです。でも、その短かい期間で多くの思い出ができました。最後の最後でやらかしましたが高最高の二年間でした。生きてて良かった。

## 畜産経営学科

**荒木 洸司**

農業の経験もなく慣れないことも多かったですが、終わってみればあつという間の二年間でした。社会人になってもがんばっていきたいです。

**石塚 陸**

二年間学べた楽しんだ。

**伊藤 花恵**

二年間楽しかったです。ありがとうございました。

**遠藤 康平**

二年間あつという間でした。とても楽しい二年間でした。みんなと過ごした日々は忘れません。みんな、ありがとう！

**遠藤 みのり**

二年間、過ぎるのが早く思い出ができたよい寮生活でした。これから社会人として、意思を強くもち生活していきたいと思います。

**加藤 佑介**

私は、この農業総合センター農業短期大学校でたくさんの方を学ばせていただいた。だが、卒業してからもうろんなことを学んでいきたい。

**草野 智貴**

二年間とてもあつという間でしたが、素晴らしい仲間と出会い、たくさん学ぶことができました。これからは福島県の畜産業に貢献出来るように頑張りたいです。

**佐久間 望**

あつという間に二年間が過ぎてしまいました。とても楽しい生活を送れました。卒業してしまうのは少し寂しいけれどみんなと出会うことができ良かったです。

**館内 将希**

二年間あつという間に終わってしまいました。目標を持ち、学校生活ができました。また、素晴らしい仲間たち

ちに出会えました。ありがとうございました！

**武藤 沙耶香**

二年間、牛や数少ない友達のお陰でなんとか寮生活と学校生活を送ることができました。支えてくださった学科の先生方に感謝。この学校で学べて良かったです。

**渡邊 成美**

二年間あつとゆーまででした。色々あったけど勉強に実習、遊び、充実してました。ありがとう。楽しい農短生活できて良かったです。





入賞者

●第四次女子学生懸賞作文

（一般社団法人福島県女性経営者プラザ主催）  
金賞  
水田経営学科二年  
遠藤 亜美

「遠藤家、長女の想い」



●第四十五回毎日農業記録賞

（毎日新聞社主催）  
一般部門 地区入賞  
野菜経営学科一年  
佐藤 克也

「農業で食べていく」  
～畑違いの挑戦～

●第二十八回ヤンマー学生懸賞論文・作文

作文の部 銀賞  
畜産経営学科一年  
松浦 有里子

「農業から生まれた私の夢」

●28回 ヤンマー学生懸賞論文・作文  
協賛：農林水産省・まちむら交流きこう



●校内意見発表会

最優秀

畜産経営学科一年

伊東 勇貴

「つくりたい」

～自給飼料と畜産の未来～

優秀一席

畜産経営学科一年

関根 祥平

「私の農業にかける夢」

～MY BIG DREAM～

優秀二席

野菜経営学科一年 佐藤 淳

「地域の農業」

～アグリレーションシップ～



●校内卒業論文発表会

最優秀

花き経営学科二年

柳沼 弘道

「夏秋コギクのエテホン処理の

感受性の判定法」

優秀

野菜経営学科二年

會田 侑平

「小玉スイカでの全量基肥栽培

が生育・収量・品質に

及ぼす影響」

優秀

果樹経営学科二年

小林 雅人

「果実吸蛾類の発生生態と

黄色LEDによる

防除効果の検討」



●東日本農業大学校等プロジェクト発表会

平成三十年一月十六日、十七日に北海道帯広市のとかちプラザにおいて、東日本農業大学校等プロジェクト発表会・意見発表会が開催されました。本校からは校内意見発表会及び校内卒業論文発表会において優秀以上の学生が参加しました。



アグリカレッジ福島  
福島県農業総合センター  
農業短期大学校

〒969-0292 福島県西白河郡矢吹町一本木446番地1  
TEL:0248-42-4113 (教務管理)  
E-mail:nougyou.noutan@pref.fukushima.lg.jp

福島農短 検索

